



一目千本桜の歴史

大河原町商工観光課

大河原町を流れる白石川沿いの桜並木、

白石川堤一目千本桜

上流の金ヶ瀬地区から隣の柴田町船岡地区まで、

約8キロメートルもの桜のトンネルが続きます。

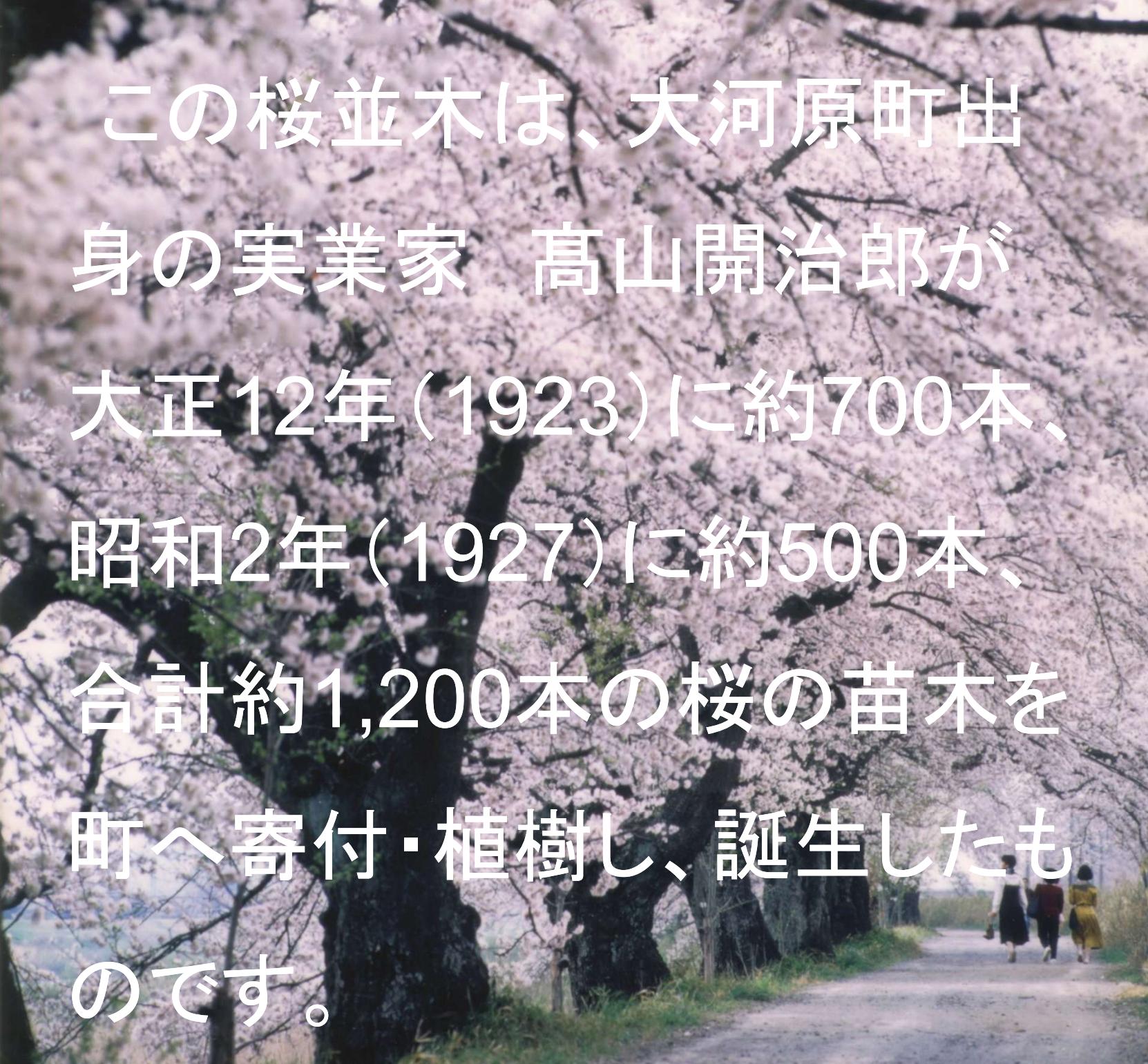
●「白石川堤一目千本桜」の由来

昭和28年(1953)に尾形町振興協賛会の会合で、半沢軍太郎氏が命名したといわれています。ひとめ見て、たくさんの桜があるという例えです。

日本を代表する桜の名所「吉野山(奈良県吉野町)」が、平安の時代から「一目千本」と呼ばれていたことにちなんで、名付けられたそうです。全国各地に一目千本(桜)という花見の名所があるため、白石川堤一目千本桜と呼ばれています。

桜のトンネル

この桜並木は、大河原町出身の実業家 高山開治郎が大正12年(1923)に約700本、昭和2年(1927)に約500本、合計約1,200本の桜の苗木を町へ寄付・植樹し、誕生したものです。



開治郎は明治9年(1876)4月、大河原の名旅館「高山屋」の長男として生まれましたが、15歳のとき父親が死亡し旅館が廃業したので、家族を養うため上京し一生懸命に働きました。

苦難の末、東京商機新聞、東京美術館、日本林業という会社を設立し成功した開治郎は、近所にある桜の名所「飛鳥山公園(東京都北区)」をふるさとに再現しようと、堤防工事が完成した白石川堤に、「ソメイヨシノ」という品種の苗木を、植え込みました。

右の文は、桜の苗木を寄付したことを記念して、大河原大橋下に建てられた「桜樹碑」に刻まれた碑文の一部です。

愛郷奉仕ノ念止ミ難ク
一千余本時価四千円ヲ
本町ニ寄付栽植ス



「桜樹碑」

「ソメイヨシノ」とは？



ソメイヨシノの可憐な花

サクラは、バラ科サクラ属の植物です。「ソメイヨシノ(染井吉野)」は、江戸時代の末期に染井村(現在の東京都豊島区)の植木職人が「吉野桜」という名で売り出したのが始まりです。

オオシマザクラとエドヒガンの雑種といわれており、葉の出る前に大きく鮮やかな花が、枝を覆いつくすほどたくさん咲き、木の生長と開花は比較的早く育てやすいために、全国各地に広がりました。

「一目千本桜」、その他の品種



シロヤマザクラの白い花



ヤエザクラは濃いピンク色

「一目千本桜」のほとんどがソメイヨシノですが、後から補植されたものに、「シロヤマザクラ」や「ヤエザクラ」があります。どちらもソメイヨシノの1～2週間後に花を咲かせます。ソメイヨシノと違い、花と葉が同時に出来ます。

最近では、明治33年(1900)に地元仙台で作られた幻の品種「センダイヨシノ」や「シダレザクラ」、「ヒカンザクラ」、「エドヒガン」等さまざまな種類の桜が植えられています。

いにしえの「一目千本桜」①



植樹後間もない桜。後ろの山は葦神山(昭和6年)

いにしえの「一目千本桜」②



蔵王は昔も今も変わりありません。(昭和30年代)

いにしえの「一目千本桜」③



昭和36年に姿を消した、汽車ポッポ

いにしえの「一目千本桜」④



進駐軍も花見に来ていました。(昭和22年)

いにしえの「一目千本桜」⑤



花見で陽気に踊るご婦人と、あ然と見ている子供たち（昭和30年）

いにしえの「一目千本桜」⑥



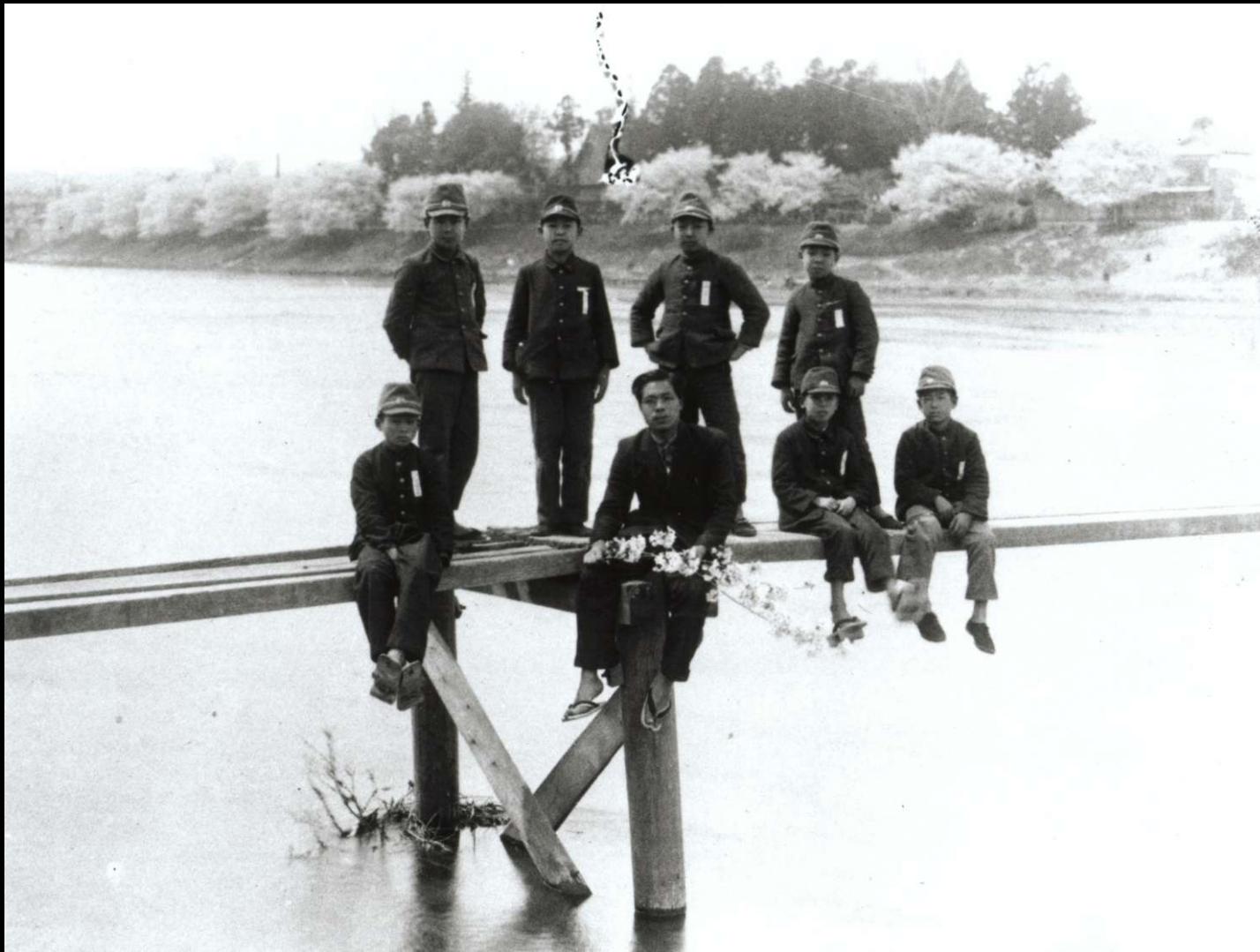
白石高等女学校(白石高校の前身)の乙女たち(昭和10年頃)

いにしえの「一目千本桜」⑦



長い歴史を誇る、柴農生によるテングス病枝剪除作業(昭和30年代)

いにしえの「一目千本桜」⑧



末広橋の前身、仮橋にて。中町・本町にも桜並木が(昭和19年頃)

いにしえの「一目千本桜」⑨



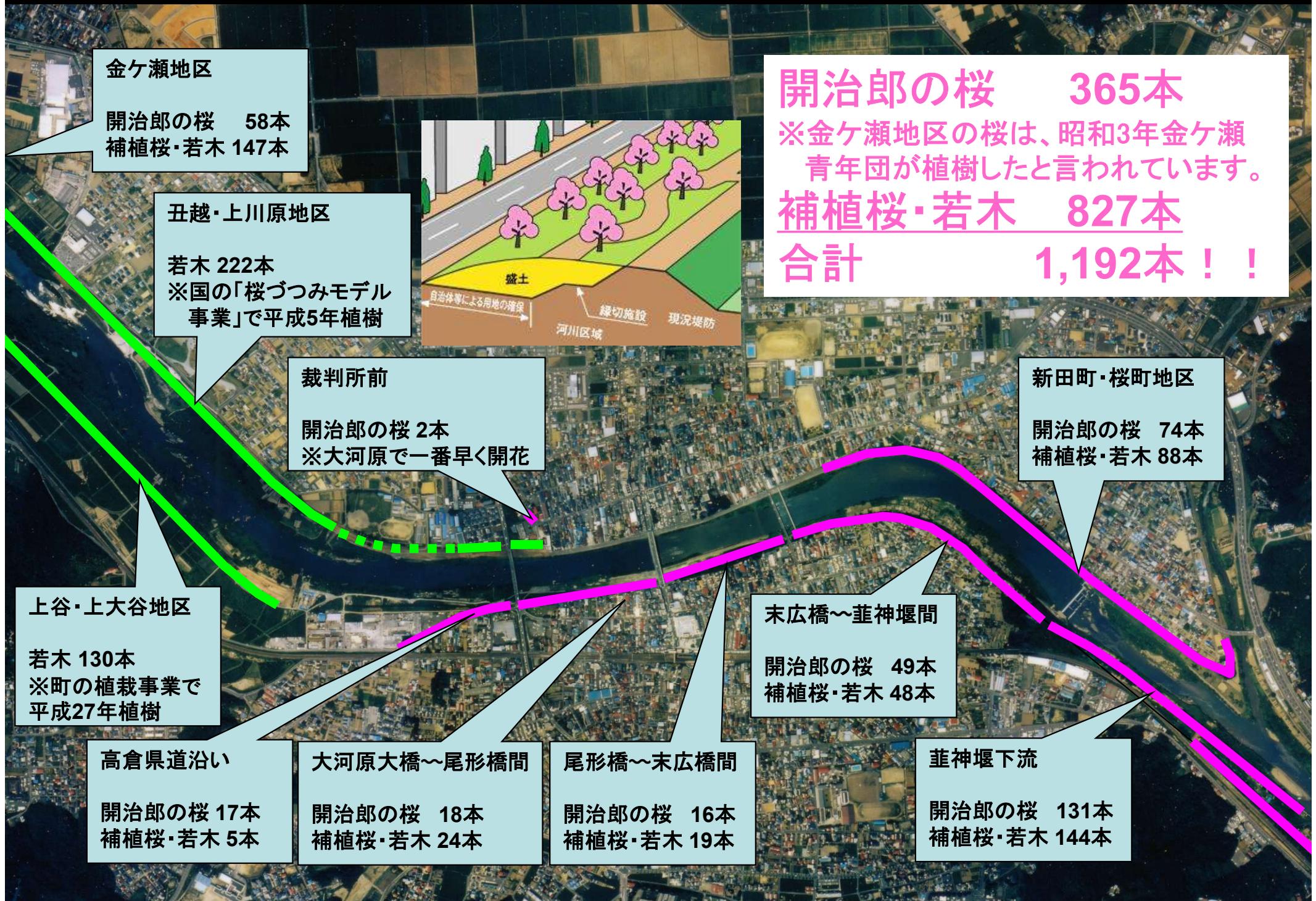
旧役場前の桜並木。土手でひと休み(昭和37年)
※昭和38年に上町～本町間の桜並木は伐採されました。

いにしえの「一目千本桜」⑩



金ヶ瀬と上大谷を結んだ渡し船(昭和40年頃)

「一目千本桜」、実際何本あるの？(大河原町さくらの会調査)



「一目千本桜」を守り、育てる。



旧・柴田農林高等学校
(現・宮城県大河原産業高等学校)
大河原ライオンズクラブ
大河原町さくらの会

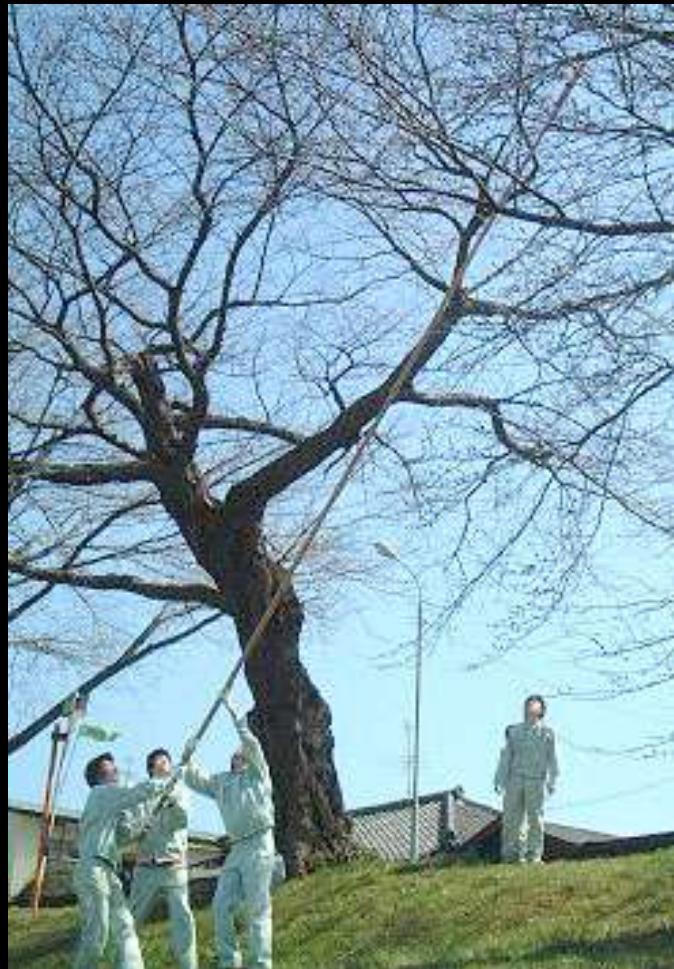
高校生によるテングス病枝せん定①



テングス病にかかった枝

テングス病は、桜の大敵です。病原菌が進入すると、一ヶ所から小さな枝がホウキ状にたくさん出ます。この枝は花が咲かなくなり、そのままにしておくと、木全体がテングス病にかかり、最後には枯れてしまいます。見つけたら、すぐに切り落とさなければなりません。

高校生によるテングス病枝せん定②



竹の先に鎌を取り付けて、
枝を切り落とします。

桜が咲く直前の毎年3月下旬に、旧・柴田農林高校(現・大河原産業高校)の1・2年生が、せん定する班とごみを拾う班に分かれて作業を行います。

この高校による桜の保護活動は歴史が古く、昭和2年(1927)の「一目千本桜」植樹を植木職人とともにを行い、テングス病枝のせん定作業も、その頃から始められていたそうです。

長年の保護活動が認められ、昭和45年(1970)には、「日本さくらの会」から表彰を受けました。

幻の桜、「センダイヨシノ」の復活



柴農敷地内に咲いたセンダイヨシノ



旧・柴田農林高校(現・大河原産業高校)自然科学部バイオ研究班では、絶滅寸前の桜の品種「センダイヨシノ(仙台吉野)」の復活を目指し長年研究を続け、バイオ技術による増殖に成功しました。

センダイヨシノはヤエベニシダレを母に、そしてソメイヨシノを父に持ち、ソメイヨシノより開花が10日ほど遅く、葉の香りが他の桜よりよいのが特長です。

研究・活動の成果が認められ、平成15年(2003)に日本さくらの会の「さくら功労者表彰」を受けました。

ライオンズクラブによる桜の補植



今までに500本以上の桜を植樹

「一目千本桜」は老木が多く、毎年枯れたり倒れたりする木があるため、大河原ライオンズクラブでは、昭和54年(1979)の発足以来、毎年桜の補植や小中学校・公園への植樹を行っています。

また、桜まつりの前には、きれいな町で観光客を迎えると、大河原駅前の清掃奉仕活動を行っています。

新品種の桜① 大河原紅桜



鮮やかな薄紅色の花をつけます。

大河原町樹木医の尾形政幸先生が、ソメイヨシノを母体にエドヒガンを交配した桜で、生長が早く高木となり薄紅色の花をつけ、病害虫に強く長寿となるのが特長である、地元『大河原』の名を冠した新しい品種の桜です。



新品種の桜② おおがわら千年桜



『大河原町が末永く桜の里となるよう
に』と願いを込めて命名されました。

大河原町樹木医の尾形政幸先生が、オオミ
ネザクラとセンダイヨシノを交配して作った桜
です。鑑賞性が高く病害虫に強いのが特長で
す。令和6年(2024)にお披露目された新しい
品種で、名称は一般公募で決定しました。



大河原町さくらの会



柴農生と共に「センダイヨシノ」の植樹

大河原町さくらの会は、大河原町を全国に

冠たる桜の名所にすることを目的に、平成9年(1997)に設立されました。

桜の調査・研究、記念植樹、ビデオ等によるPR活動等を行っており、平成12年(2000)4月には、開治郎の長男 高山豊太郎氏を大河原町に招待しました。

旧・柴田農林高校(現・大河原産業高校)と「センダイヨシノ」の普及に取り組んでいます。

住民総参加による白石川清掃活動



きれいな町で、お待ちしております！

「観桜に訪れる多くの皆様にきれいな桜並

木を気持ちよく歩いてもらおう」と、平成18年

(2006)より白石川流域の大河原・柴田両町

の住民や学校、企業、ボランティア団体、そし

て宮城県や両町の行政機関が協働で、白石

川の土手等の清掃活動を行なっています。

きれいになった桜の名所で、県内外から訪

れるたくさんのお客様を気持ちよくお迎えして

います。

「一目千本桜」に魅せられて



おおがわら桜まつり

桜の開花状況について



開花



満開



散り始め

過去5年間の開花状況調べ

	開花	満開	散り始め
令和03年(2021)	3/28	4/1	4/5
令和04年(2022)	4/7	4/11	4/14
令和05年(2023)	3/27	4/1	4/7
令和06年(2024)	4/4	4/10	4/16
令和07年(2025)	4/5	4/10	4/16
過去34年間の平均	4/8	4/13	4/18
過去10年間の平均	4/3	4/8	4/13
過去5年間の平均	4/2	4/7	4/12

桜は、翌年に咲く花の基となる花芽(かが)を夏ごろに形成し、活動を休止します。そして冬の寒さが厳しくなると活動を再開(休眠打破)し、気温の上昇とともに成長します。

休眠打破後の2月以降の気温が、桜の成長に影響を及ぼします。休眠打破が不十分だと開花が遅れたり、開花時期が不揃いになるそうです。

開花…一本の木から花が5~6輪咲いた状態

満開…花が咲きそろった時の80%以上が咲いた状態

おおがわら桜まつり ①



夜桜ライトアップ

桜の開花に合わせて、おおがわら桜まつりが開催されます。一斉に咲き誇る桜の姿は壮観であり、ライトアップされた夜桜は川面に映り、幻想的な美しさです。

平成13年(2001)には、尾形橋～葦神堰間を往復約20分で運航する屋形船が登場しました。この屋形船は、丸森町の阿武隈ライン舟下りで使用しているものを、大型トラックで運んできたものです。

船を運航するには70cm以上の水深が必要なため、運航期間中は葦神堰の水門を閉めもらっています。



平成13年登場の屋形船

おおがわら桜まつり ②



令和7年(2025)の桜まつりポスター

最近では、東京や関西方面、なんと海外からも！
JRや大型バスを使って訪れるかたが増えました。
JRでは、桜の開花に合わせて大河原～船岡間の
普通電車を時速約45kmで徐行運転しています。
まつり期間中(約2週間)は、およそ25万人もの観
光客で賑わいます。この数字は、県内のイベントで
は、光のページント、仙台七夕、青葉まつり、スト
リートジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOI
まつり、石巻川開きに続き、第7位となっています。

※令和2年・令和3年・令和4年はコロナ禍のため中止

郷土の誇り、「一目千本桜」

宮城県、東北地方を代表する大河原町の白石川堤「一目千本桜」は、数々の名所百選の地に選ばれています。

昭和62年(1987) 「宮城県新観光名所百選(河北新報社)」

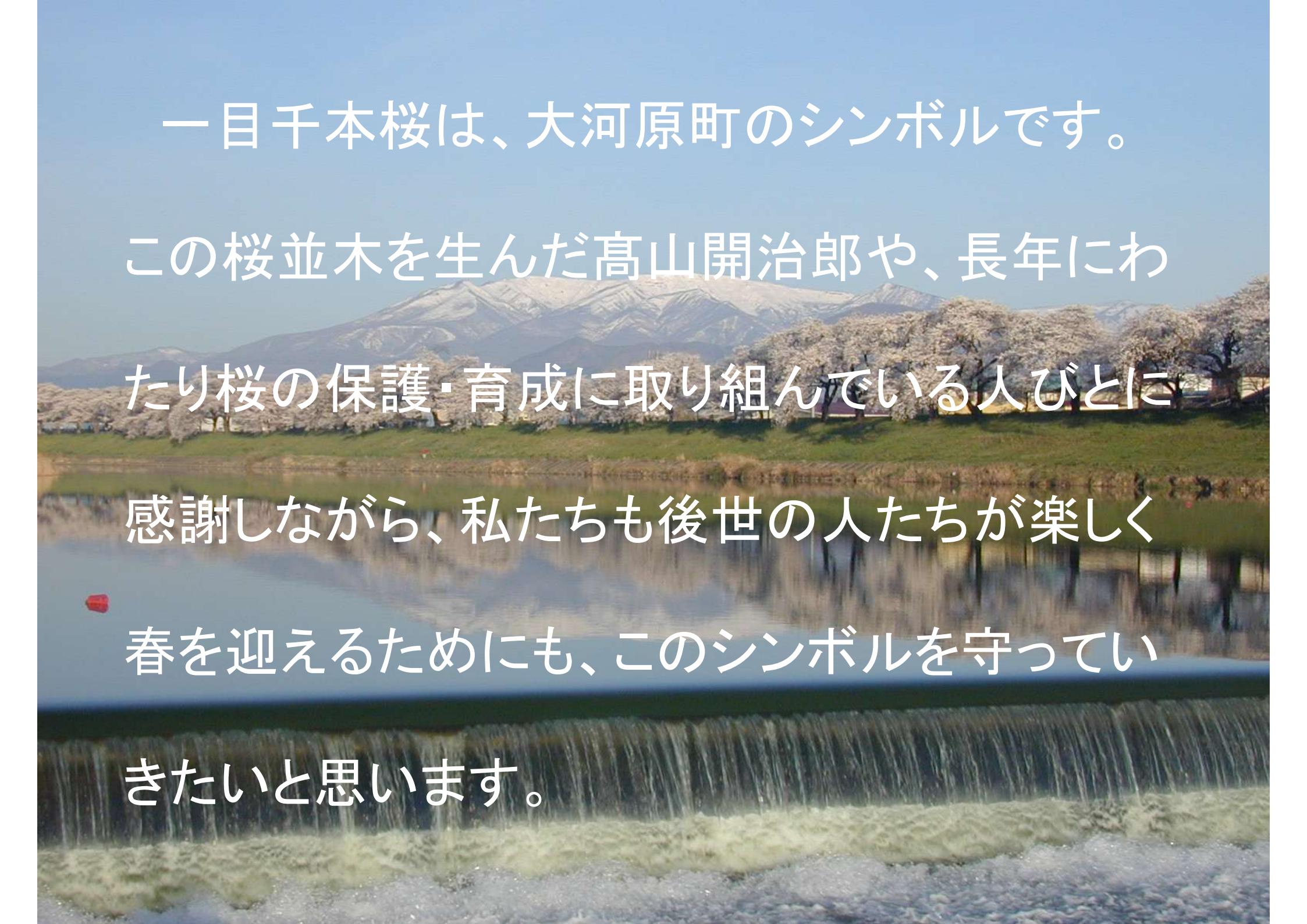
平成 2年(1990) 「さくら名所百選(日本さくらの会)」

平成 6年(1994) 「新日本街路樹百景(読売新聞社)」

平成14年(2002) 「遊歩百選(読売新聞社)」



「一目千本桜」
記念碑



一目千本桜は、大河原町のシンボルです。

この桜並木を生んだ高山開治郎や、長年にわ

たり桜の保護・育成に取り組んでいる人びとに

感謝しながら、私たちも後世の人たちが楽しく

春を迎えるためにも、このシンボルを守ってい

きたいと思います。